



平成28年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年11月13日

上場取引所 東

上場会社名 岡谷電機産業株式会社

コード番号 6926 URL <http://www.okayaelec.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 山岸 久芳

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経営本部副本部長

(氏名) 本間 勤

TEL 03-4544-7000

四半期報告書提出予定日 平成27年11月13日

配当支払開始予定日

平成27年12月4日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第2四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する四半期純利益 | |
|-------------|-------|------|------|-------|------|-------|------------------|------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 28年3月期第2四半期 | 6,385 | △4.5 | 134 | △31.4 | 97 | △63.6 | △190 | — |
| 27年3月期第2四半期 | 6,684 | 1.8 | 196 | △11.3 | 266 | △7.7 | 229 | 36.0 |

(注) 包括利益 28年3月期第2四半期 △422百万円 (—%) 27年3月期第2四半期 513百万円 (64.8%)

| | 1株当たり四半期純利益 | 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益 |
|-------------|-------------|--------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 28年3月期第2四半期 | △8.53 | — |
| 27年3月期第2四半期 | 10.25 | — |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 |
|-------------|--------|--------|--------|
| | 百万円 | 百万円 | % |
| 28年3月期第2四半期 | 13,138 | 9,481 | 72.2 |
| 27年3月期 | 13,692 | 10,015 | 73.1 |

(参考) 自己資本 28年3月期第2四半期 9,481百万円 27年3月期 10,015百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|------------|--------|--------|--------|------|------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 27年3月期 | — | 4.00 | — | 5.00 | 9.00 |
| 28年3月期 | — | 4.00 | — | — | — |
| 28年3月期(予想) | — | — | — | 5.00 | 9.00 |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する当期純利益 | | 1株当たり当期純利益 |
|----|--------|------|------|-------|------|-------|-----------------|---|------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 12,600 | △6.6 | 160 | △71.8 | 80 | △88.6 | △250 | — | △11.18 |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

| | | | | |
|---------------------|----------|--------------|----------|--------------|
| ① 期末発行済株式数(自己株式を含む) | 28年3月期2Q | 22,921,562 株 | 27年3月期 | 22,921,562 株 |
| ② 期末自己株式数 | 28年3月期2Q | 569,657 株 | 27年3月期 | 569,428 株 |
| ③ 期中平均株式数(四半期累計) | 28年3月期2Q | 22,351,994 株 | 27年3月期2Q | 22,352,342 株 |

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記載は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等はさまざまな要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付の資料2ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------------|----|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 2 |
| 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 | 3 |
| (1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 | 3 |
| (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 | 3 |
| 3. 四半期連結財務諸表 | 4 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 4 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | 6 |
| 四半期連結損益計算書 | |
| 第2 四半期連結累計期間 | 6 |
| 四半期連結包括利益計算書 | |
| 第2 四半期連結累計期間 | 7 |
| (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 | 8 |
| (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 | 9 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 9 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 9 |
| (セグメント情報等) | 9 |
| 4. 補足情報 | 10 |
| (1) 地域別売上高 | 10 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における世界経済につきましては、米国が回復基調にあるものの、中国及び東南アジア経済の減速をはじめとする様々な課題が残されています。また、国内経済は回復基調にあるものの、依然として不透明感が拭えない状態が続いています。

このような経済環境のなか、当社は今年度より「ものづくりの力の強化」を柱とする第9次中期経営計画を開始しました。これに基づき、中国工場の自動化、スリランカ工場の生産能力増強及び国内の生産技術力・製品開発力の強化に努めています。

一方、販売面は世界経済の停滞に加え、顧客の生産調整の影響もあり、全体として低調に推移しました。

国内では、円安による国内生産回帰の動きが一部にみられるものの、前年度好調であったスマートフォン用生産設備向けの受注が伸び悩みました。また、研究機関等に設置される電波暗室（周囲の電波環境に影響されない特殊な実験設備）向けやロボット向けの製品については堅調を維持しています。

海外では、中国の景気減速の影響もあり、主力分野のひとつであるエアコン向け等が伸び悩みました。

なお、コンデンサの取引に関する複数の海外競争法規制当局による調査への対応及び米国における集団訴訟への対応のための弁護士報酬等として2億92百万円を特別損失として計上しました。当社グループといたしましては当局による調査に全面的に協力するとともに、コンプライアンス経営の徹底に取り組んでまいり所存です。

また、国内生産の強化・拡充のため埼玉県行田市において実施する新工場建設に係る一部費用として47百万円を計上しました。新工場においては、サージ関連製品を最新の自動化設備を以って生産する予定です。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は63億85百万円（前年同期比96%）、営業利益は1億34百万円（同69%）、経常利益は97百万円（同36%）となり、親会社株主に帰属する四半期純損失は1億90百万円（前年同期は2億29百万円の親会社株主に帰属する四半期純利益）となりました。

セグメント別の業績は下記のとおりです。

ノイズ関連製品

一部の産業機器向けや医療機器向けで受注の増加も見られましたが、スマートフォン向け生産設備や海外におけるエアコン等の民生機器の受注減少が影響し、ノイズ関連製品の売上高は40億64百万円（同98%）となりました。

サージ関連製品

第1四半期連結累計期間に引き続き、屋外LED照明用電源向けは堅調に推移しました。しかしながら、全体としては中国の景気減速の影響等により、白物家電・工作機械向けとも低調に推移し、サージ関連製品の売上高は10億53百万円（同87%）となりました。

表示関連製品

照明や制御機器向けは順調に推移しましたが、工作機械、医療機器、情報インフラ向け等で伸び悩み、表示関連製品の売上高は9億38百万円（同96%）となりました。

センサー関連製品

好調であったロボット向けエンコーダーが、中国市場低迷の影響を受け伸び悩みました。また、時計指針補正用センサーの受注が生産調整により減少したこともあり、センサー関連製品の売上高は3億28百万円（同89%）となりました。

(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

本年5月14日に公表した連結業績予想を修正いたしました。詳細につきましては、本日公表した「第2四半期連結累計期間の連結業績予想との差異及び通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

なお、上記の予想は本資料発表日現在において想定できる経済情勢、市場動向などを前提としており、実際の業績は今後さまざまな要因によって異なる結果となる可能性があります。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

（税金費用の計算）

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（会計方針の変更）

（企業結合に関する会計基準等の適用）

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成25年9月13日）、「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成25年9月13日）及び「事業分離等に関する会計基準」（企業会計基準第7号 平成25年9月13日）等を第1四半期連結会計期間から適用し、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第2四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (平成27年3月31日) | 当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日) |
|------------|-------------------------|------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 2,554,292 | 2,832,026 |
| 受取手形及び売掛金 | 4,396,704 | 3,859,113 |
| 商品及び製品 | 820,597 | 917,002 |
| 仕掛品 | 352,051 | 331,157 |
| 原材料及び貯蔵品 | 758,401 | 673,199 |
| 繰延税金資産 | 115,309 | 93,622 |
| その他 | 290,727 | 304,266 |
| 貸倒引当金 | △15,297 | △13,603 |
| 流動資産合計 | 9,272,787 | 8,996,784 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | 2,196,211 | 2,329,153 |
| 無形固定資産 | 59,718 | 27,324 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 2,000,529 | 1,618,144 |
| 繰延税金資産 | 70,483 | 75,049 |
| その他 | 93,168 | 92,418 |
| 投資その他の資産合計 | 2,164,181 | 1,785,613 |
| 固定資産合計 | 4,420,111 | 4,142,091 |
| 資産合計 | 13,692,899 | 13,138,875 |

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (平成27年3月31日) | 当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日) |
|---------------|-------------------------|------------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 1,081,122 | 985,087 |
| 短期借入金 | 527,506 | 718,250 |
| 未払法人税等 | 108,396 | 43,906 |
| その他 | 822,148 | 953,523 |
| 流動負債合計 | 2,539,173 | 2,700,767 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 120,940 | 100,000 |
| 環境対策引当金 | 12,728 | 12,728 |
| 退職給付に係る負債 | 554,758 | 567,925 |
| 資産除去債務 | 8,305 | 8,305 |
| その他 | 441,750 | 267,994 |
| 固定負債合計 | 1,138,481 | 956,952 |
| 負債合計 | 3,677,655 | 3,657,720 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 2,295,169 | 2,295,169 |
| 資本剰余金 | 1,861,043 | 1,861,043 |
| 利益剰余金 | 4,334,090 | 4,031,641 |
| 自己株式 | △121,127 | △121,225 |
| 株主資本合計 | 8,369,176 | 8,066,630 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 785,391 | 559,392 |
| 繰延ヘッジ損益 | △11,686 | △3,922 |
| 土地再評価差額金 | 489,782 | 489,782 |
| 為替換算調整勘定 | 396,888 | 380,897 |
| 退職給付に係る調整累計額 | △14,308 | △11,625 |
| その他の包括利益累計額合計 | 1,646,067 | 1,414,524 |
| 純資産合計 | 10,015,243 | 9,481,154 |
| 負債純資産合計 | 13,692,899 | 13,138,875 |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日) |
|---|---|---|
| 売上高 | 6,684,177 | 6,385,371 |
| 売上原価 | 5,020,194 | 4,906,538 |
| 売上総利益 | 1,663,982 | 1,478,833 |
| 販売費及び一般管理費 | 1,467,534 | 1,344,042 |
| 営業利益 | 196,448 | 134,791 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 13,961 | 19,800 |
| 受取配当金 | 31,067 | 37,334 |
| 為替差益 | 26,418 | — |
| その他 | 5,258 | 5,167 |
| 営業外収益合計 | 76,705 | 62,302 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 3,431 | 3,388 |
| 為替差損 | — | 16,171 |
| 持分法による投資損失 | — | 78,611 |
| その他 | 2,839 | 1,853 |
| 営業外費用合計 | 6,270 | 100,025 |
| 経常利益 | 266,883 | 97,067 |
| 特別利益 | | |
| 持分変動利益 | 31,747 | — |
| 特別利益合計 | 31,747 | — |
| 特別損失 | | |
| 弁護士報酬等 | — | 292,631 |
| 工場再構築費用 | — | 47,075 |
| 特別損失合計 | — | 339,707 |
| 税金等調整前四半期純利益又は 税金等調整前四半期純損失(△) | 298,630 | △242,639 |
| 法人税等 | 125,862 | △51,951 |
| 四半期純利益又は四半期純損失(△) | 172,767 | △190,688 |
| 非支配株主に帰属する四半期純損失(△) | △56,306 | — |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益又は 親会社株主に帰属する四半期純損失(△) | 229,073 | △190,688 |

(四半期連結包括利益計算書)

(第 2 四半期連結累計期間)

(単位：千円)

| | 前第 2 四半期連結累計期間 (自 平成26年 4 月 1 日 至 平成26年 9 月 30 日) | 当第 2 四半期連結累計期間 (自 平成27年 4 月 1 日 至 平成27年 9 月 30 日) |
|--------------------|---|---|
| 四半期純利益又は四半期純損失 (△) | 172,767 | △190,688 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 133,486 | △225,998 |
| 繰延ヘッジ損益 | △2,203 | 7,763 |
| 為替換算調整勘定 | 208,385 | △15,990 |
| 退職給付に係る調整額 | 1,287 | 2,683 |
| その他の包括利益合計 | 340,955 | △231,543 |
| 四半期包括利益 | 513,723 | △422,231 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 570,029 | △422,231 |
| 非支配株主に係る四半期包括利益 | △56,306 | — |

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日) |
|-----------------------------------|---|---|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 税金等調整前四半期純利益又は 税金等調整前四半期純損失(△) | 298,630 | △242,639 |
| 減価償却費 | 330,606 | 228,279 |
| 持分変動損益(△は益) | △31,747 | — |
| 工場再構築費用 | — | 47,075 |
| 退職給付に係る負債の増減額(△は減少) | 10,139 | 13,166 |
| 役員退職慰労引当金の増減額(△は減少) | △24,303 | — |
| 貸倒引当金の増減額(△は減少) | 168 | △1,681 |
| 受取利息及び受取配当金 | △45,029 | △57,134 |
| 支払利息 | 3,431 | 3,388 |
| 持分法による投資損益(△は益) | — | 78,611 |
| 売上債権の増減額(△は増加) | △173,015 | 521,154 |
| たな卸資産の増減額(△は増加) | △53,317 | 1,700 |
| 仕入債務の増減額(△は減少) | 239,191 | △95,294 |
| その他 | 170,255 | 136,706 |
| 小計 | 725,010 | 633,334 |
| 利息及び配当金の受取額 | 40,803 | 56,940 |
| 利息の支払額 | △3,609 | △3,385 |
| 法人税等の支払額 | △32,765 | △102,428 |
| 法人税等の還付額 | 45,760 | — |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 775,199 | 584,461 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 有形固定資産の取得による支出 | △156,543 | △376,163 |
| 有形固定資産の売却による収入 | — | 8,032 |
| 無形固定資産の取得による支出 | — | △2,814 |
| 定期預金の預入による支出 | △150,000 | — |
| 定期預金の払戻による収入 | 100,000 | — |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △206,543 | △370,945 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 短期借入金の純増減額(△は減少) | △544,300 | 203,124 |
| 長期借入金の返済による支出 | △66,640 | △33,320 |
| 非支配株主からの払込みによる収入 | 250,000 | — |
| 配当金の支払額 | △112,200 | △112,869 |
| 自己株式の取得による支出 | △11 | △97 |
| その他 | 7 | — |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | △473,144 | 56,837 |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額 | 78,919 | 7,380 |
| 現金及び現金同等物の増減額(△は減少) | 174,431 | 277,733 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 1,370,087 | 1,554,292 |
| 連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額(△は減少) | △18,668 | — |
| 現金及び現金同等物の四半期末残高 | 1,525,850 | 1,832,026 |

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前第 2 四半期連結累計期間 (自 平成26年 4 月 1 日 至 平成26年 9 月30日)

(単位：千円)

| | 報告セグメント | | | | 合計 | 調整額 (注) 1 | 四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2 |
|-----------------------|-------------|-------------|------------|--------------|-----------|--------------|--------------------------------|
| | ノイズ 関連製品 | サージ 関連製品 | 表示 関連製品 | センサー 関連製品 | | | |
| 売上高 | | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 4,128,724 | 1,209,375 | 975,879 | 370,197 | 6,684,177 | — | 6,684,177 |
| セグメント間の内部 売上高又は振替高 | — | — | — | — | — | — | — |
| 計 | 4,128,724 | 1,209,375 | 975,879 | 370,197 | 6,684,177 | — | 6,684,177 |
| セグメント利益 | 286,917 | 334,034 | 5,597 | 72,922 | 699,472 | △503,023 | 196,448 |

(注) 1. セグメント利益の調整額は、報告セグメントに帰属しない一般管理費等である。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っている。

当第 2 四半期連結累計期間 (自 平成27年 4 月 1 日 至 平成27年 9 月30日)

(単位：千円)

| | 報告セグメント | | | | 合計 | 調整額 (注) 1 | 四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2 |
|-----------------------|-------------|-------------|------------|--------------|-----------|--------------|--------------------------------|
| | ノイズ 関連製品 | サージ 関連製品 | 表示 関連製品 | センサー 関連製品 | | | |
| 売上高 | | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 4,064,821 | 1,053,234 | 938,798 | 328,517 | 6,385,371 | — | 6,385,371 |
| セグメント間の内部 売上高又は振替高 | — | — | — | — | — | — | — |
| 計 | 4,064,821 | 1,053,234 | 938,798 | 328,517 | 6,385,371 | — | 6,385,371 |
| セグメント利益 又は損失 (△) | 280,001 | 232,068 | △59,333 | 69,170 | 521,906 | △387,115 | 134,791 |

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額は、報告セグメントに帰属しない一般管理費等である。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っている。

4. 補足情報

(1) 地域別売上高

前第2四半期連結累計期間(自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)

(単位:千円)

| 日本 | 香港 | 中国 | その他アジア | 北米 | その他 | 計 |
|-----------|-----------|---------|---------|---------|--------|-----------|
| 3,291,516 | 1,479,187 | 451,953 | 867,138 | 551,405 | 42,975 | 6,684,177 |
| 49.2% | 22.1% | 6.8% | 13.0% | 8.3% | 0.6% | 100.0% |

(注) 1. 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類している。

2. 「その他」の区分は、主に欧州である。

3. 比率は構成比である。

当第2四半期連結累計期間(自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)

(単位:千円)

| 日本 | 香港 | 中国 | その他アジア | 北米 | その他 | 計 |
|-----------|-----------|---------|-----------|---------|--------|-----------|
| 2,893,453 | 1,346,283 | 499,246 | 1,042,835 | 565,708 | 37,844 | 6,385,371 |
| 45.3% | 21.1% | 7.8% | 16.3% | 8.9% | 0.6% | 100.0% |

(注) 1. 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類している。

2. 「その他」の区分は、主に欧州である。

3. 比率は構成比である。